

白山哲学

河本英夫教授退任記念号

第 58 号

ミヒヤエル・エンデとルドルフ・シュタイナー	中里 巧 (33)
息づくもの、佇むもの、暮らすもの —— 工藝の民俗学	河本 英夫 (53)
西田幾多郎にとっての宗教と論理	相楽 勉 (81)
ARAKAWAの恐怖と D・ベネターの反出生主義の奇妙な符号 —— 絶滅の環境デザインに向けた一試論 ——	稲垣 諭 (101)
トマス・アキナスによる カテゴリーの導出	三重野清顕 (121)
クラウベルクとデカルトにおける 「存在するもの」について —— 「存在論(Ontologia)」 デカルト哲学の交錯	今井 悠介 (167)
なぜスピノザに注目して十八世紀 ドイツ哲学史を描くのか —— 哲学史の方法論 試論(二) ——	津田 栞里 (199)

東洋大学文学部紀要第77集
哲 学 科 編